

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

水戸赤十字病院 広報誌

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3-12-48

TEL.029-221-5177(代表)

http://www.mito.jrc.or.jp

2025.3  
Vol. 52  
【月刊】

虹の由来／架け橋となるような広報誌を目指します

虹



水戸赤十字病院と常磐大学との  
連携協力に関する協定締結式

令和7年2月17日(月)、  
当院で常磐大学との  
連携協力協定締結式を  
執り行いました



◀署名した締結書を持つ  
野澤院長(左)と富田学長(右)

P1-2:常磐大学と連携協力協定を締結 P2:茨城県支部常備救護班主事等研修会に参加 P3:茨城県支部こころのケア要  
員研修に参加、令和6年度第3回症例検討会を開催 P4:登録医の紹介、水戸日赤ラジオ最終回、広報誌「虹」がリニューアル



## 常磐大学と連携協力協定を締結しました

2月17日、当院は常磐大学との間で、教育・研究の相互支援や学生の実習受け入れなどを行う包括的な連携協定を締結しました。

協定内容は、管理栄養士や看護系人材等の養成に関する教育・研究の相互支援、教職員の相互交流などを柱とするもので、両機関がしっかりと手を取り合い、地域医療のさらなる発展を目指し、連携・協力することを約束するものです。

締結式は当院災害医療研修室で開かれ、野澤院長と富田学長が締結書に署名押印し、協定が結ばれました。

今後は、地域の医療分野の課題解決などに向けて、共同研究等を行っていく予定です。地域医療へのさらなる貢献に向け、新たな門出となりました。



## 茨城県支部常備救護班主事等研修会に参加しました

令和7年1月31日(金)、茨城県立消防学校を会場に、令和6年度日本赤十字社茨城県支部常備救護班主事等研修会が開催されました。当院からは、作業療法士、理学療法士、診療放射線技師、薬剤師、臨床検査技師、看護師、事務職員の計14名が参加し、今回は主に救急車の取扱いについて学びました。



実技訓練では、車両の点検と運転に加え、ストレッチャーなどの取扱いと搬送の訓練を行いました。現場で使用する車両や資機材を実際に使用・操作することができ、非常に実践的かつ有意義な研修となりました。

◀ストレッチャーに班員を乗せ、救急車に搬送しました。



普段はなかなか運転できない救急車に乗り、まずは敷地内に設置されたコースを走行。同乗者の目も借りながら、細道やカーブを慎重に進みました。

その後は講内道路を走り、搬送される方にとって路上の段差がどれほどの衝撃になるかなど、運転時の注意を体験とともに学びました。

## 茨城県支部こころのケア要員研修に参加しました

令和7年2月18日(火)、当院災害医療研修室で、救護員を対象とした令和6年度日本赤十字社茨城県支部こころのケア要員研修が開催されました。

当院看護師3名が指導員を務め、当院からは看護師9名、事務職員2名の計11名が参加。災害時のストレス反応や、被災者へのこころのケアの必要性、実際の活動の流れについて学び、実践演習を行いました。また、こころのケア要員としての基本姿勢や心構えとともに、被災地でのセルフケアの重要性についても学び、被災者だけでなく支援者の受けるストレスとその対策について理解を深めました。

参加者の井川看護師は、「具体的なこころのケアの方法や注意点などを学ぶとともに、被災者、支援者ともに精神的負担は大きく、ケアが必要であることを痛感した。また、こころのケアは長期的な支援が必要であり、継続的な学習の必要性を感じた」と研修を振り返りました。



▲座学では被災時のストレスや「こころのケア」についての理解を深め、演習では被災地を想定したロールプレイを行いました。



▲ロールプレイを行う井川看護師(中)。

## 令和6年度第3回症例検討会を開催しました

令和7年2月27日(木)、令和6年度第3回症例検討会を開催し、院内外から35名の参加がありました。

産婦人科顧問の藤村 正樹医師が座長を務め、産婦人科から2症例を発表し、臨床情報と病理所見をもとに検討が行われました。当院研修医や院外から参加された医師・看護師の方々を含め、質問や意見が活発に交わされ、内容の濃い検討会となりました。

当院では引き続き、さまざまな症例について地域の先生方と共有できるよう取り組んでまいります。



### 【発表症例】

①「腹腔鏡下子宮筋腫核出術(LM)施行後に発症した Leiomyomatosis Peritonealis Disseminata(LPD:腹膜播種性平滑筋腫症)の一例」

プレゼンテーション：産婦人科 小倉 勇輝 医師

細胞診所見解説：病理診断科部 佐竹 藍 臨床検査技師

②「外陰搔痒感を主訴に来院した外陰部カンジタ様所見を呈する膣線がんを伴った外陰部Extramammary Paget's diseaseの一例」

プレゼンテーション：産婦人科 坂場 大輔 医師

細胞診所見解説：病理診断科部 山上 茉央 臨床検査技師

病理所見解説：病理診断科部長 堀 眞佐男 医師

# 水戸赤十字病院登録医紹介

当院の基本方針である「地域に愛され、信頼される病院」「安全かつ良質な医療の提供」を推進するための心強いパートナーとなる登録医の先生をご紹介します。

## おおひらクリニック

近年の高齢化社会に伴い、排尿に関する症状に悩まされる方が増えています。しかしながら、年のせいとあきらめたり、恥ずかしいから、と受診をためらわれている方も多いのではないのでしょうか。

そのような方々がお気軽に受診でき、ご相談できるクリニックを目指し、水戸市笠原町に開院しました。

院長は泌尿器科専門医ですが、地域に根ざす診療所として、排尿に関すること以外でも、健康に関するお悩みをお気軽にご相談できるかかりつけ医として、近隣の医療機関との連携により、患者さまごとに最適な医療を提供して、地域医療に貢献したいと思います。

### 【泌尿器科】

尿が通る腎臓・尿管・膀胱そして、男性生殖器(精巣・前立腺・外性器)の悩みや病気を診断し治療します。尿失禁や頻尿、排尿痛、尿路結石、膀胱炎、血尿、夜尿症、男性の前立腺肥大症や前立腺がんなど。

### 【内科】

一般内科的疾患

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:30	●	●	休	●	●	●	休
14:30~18:00	●	●	休	●	●	休	休

休診日:水曜、第2・4土曜、日曜・祝日



住 所: 水戸市笠原町1568-1  
(茨城県庁向かい)

T E L : 029-291-6173

診 療 科: 泌尿器科、内科

駐 車 場: 20台有り



院長 大平 直先生

- 院内で超音波検査・尿流量測定・尿検査・心電図検査ができます。
- 泌尿器科疾患の治療に関するセカンドオピニオンをお受けしております。

HPはこちらから!



## 当院のラジオ番組 3月28日に最終回!!

半年間、まことにありがとうございました。

令和6年10月から、LuckyFM茨城放送にて、毎週金曜日に放送してまいりました当院のラジオ番組「水戸赤十字病院の今日もおだいに」が、3月28日(金)の放送をもって最終回を迎えます。医療にかかわるちょっと知りたい耳寄り情報を、リスナーの皆さまにお届けするこの番組。2月にSNS上で実施したアンケートでは、番組継続を希望される声などをいただき、大変嬉しく思っております。

最後に、番組制作に携わっていただいたLuckyFM茨城放送さま、パーソナリティの菊地 真衣アナウンサー、そして番組を聴いてくださったリスナーの皆さま、本当にありがとうございました!



## 広報誌「虹」がリニューアルいたします!

令和7年度から広報誌「虹」がリニューアルいたします。

発刊頻度は月刊から隔月刊(5、7、9、11、1、3月に発刊)、頁数は4頁から8頁に変わります。より親しみを感じていただけるよう、診療科の紹介などを企画しております。

リニューアル第一号となるVol.53は、令和7年5月中旬に発行予定です。引き続き「虹」をよろしくお願いいたします。



## ●退任のお知らせ

【令和7年2月28日付】

たきた

ともふみ

研修医

多喜田

知史

上記の医師が退任いたしました。  
大変お世話になりました。



1分アンケートにご協力をお願いします!

こちらのQRコードを読み取ってご回答いただけます。  
病院広報誌「虹」をより良くするために、皆さまのお声をお聞かせください。